

夏・冬の替えふとんは廊下に収納棚をつくって

和室の寝室がない場合でも、夏・冬の替えふとんをしまう収納は考えるべきです。各家庭内のふとんの枚数は減る傾向にあるようです。完全空調のホテルなみとはいかないまでも、厚手の毛布や羽毛・羊毛ふとんなどで、収納容量の節約を心がけましょう。二人分の寝具をしまう和室の押し入れは、中段だけを使った場合、幅は最低一間は必要です。

洋室のベッドの生活ならば、同程度のスペースで、四人分以上の替えふとんの収納が可能です。この場合は、毎日使うものではないので、共用の収納棚を納戸か廊下に設けるのが便利です。

雑人形や、五月人形は、当初の専用箱ごと天袋か納戸にしまえます。一年に一度のことなので、比較的出し入れしやすい場所でも仕方ないでしょう。飾るだけでなく、親の手を煩わせながらの出し入れ自体が、子供にとつてのセレモニーと考えるべきです。

日常使う小物類

リビングか食堂の引き出しにトレイを使って

印鑑や保険証、はさみ、ホチキス、爪切りなどは、身近の決められたところにしまえます。

居間か食堂に専用の浅めの引き出しを

設け、小分けされたプラスチック・トレイを納めるのが便利です。

封筒やはがき、学校からのプリント類は、ビニール製のファイルブックや、紙ばさみ式のストックファイルを利用します。やはり居間か食堂に小規模の棚を設けるのが良いでしょう。カウンターデスクのある小さな家事コーナーがつくれるならば、カウンターの近くに書棚を付けて、家計簿や料理の本と一緒にしまえます。

* * *

最後にひとこと付け加えて連載を終えることにします。シリーズを通して、お役に立つ個所がありましたでしょうか。ここに記してきたことからは、ひとつの参考資料としてとらえて下さい。くれぐれも、すべてを実行しようなどとは考えないことです。

住まいの収納は、人それぞれの生活パターン、家族構成、家具調度など、あらゆる要因から決められていくべきものです。部屋の居心地の良さや、機能的スペースを犠牲にしてま

での収納の確保というのは感心しません。そんな懸念があるときは、一度、中にもしますべき品物の重要さを考え直してみよう。家を建てるときの工事費の坪単価を念頭において、空間を眺めてみて下さい。

まいの中での価値のかけ方により、空間の用途は決められていくべきです。どうか、あなたにとって何が一番大事かを忘れずに、取捨選択してください。さらに物の大きさと収納の考察を通して、品物を増やさない努力も大切だというところに、気がついて下されば、この記事は成功だと思えます。



●食堂にカウンターデスクを設けた場合
エアコンをビルトインし、小引き出しを付けて小物類をしまう
家事コーナーのわきには書棚を造って家計簿やファイルブックを収める

設計工作室